

説明会アンケートのご意見について

8月17日（金）～24日（金）に開催された説明会では、多くの市民の皆様からご意見を伺いたく、アンケート用紙を配布いたしました。皆様からいただいた貴重なご意見・ご提案を参考にして、今後の移転事業を進めてまいりたいと考えております。（受付順に掲載しております。）

受付日	8月17日	会場	下北文化会館
回収方法	会場にて投書	回答	希望しない

説明は良く理解できました。

一点わからないことがありました。プロポーザルという言葉の意味が理解できませんでした。

今後の説明会では、ふれておいた方が良いでしょう。

受付日	8月17日	会場	下北文化会館
回収方法	会場にて投書	回答	希望しない

賛成、現市庁舎内の各課の詰めこみ状態では執務の効率は上がりません。

早急に移転して下さい。

寄付などは頂き、借金返済の見込はついたようなのでよろしく。

受付日	8月22日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望しない

庁舎移転についての基本姿勢がよく理解できた。最小限の費用で最大の活用をするという考え方もよく分かりました。反対する人達もいるかと思いますが、話し合いを深め、計画通り実施してほしいと思います。現庁舎はいろいろな面で市民生活にとってマイナスであることを一日も早く解決してほしいと思います。

受付日	8月22日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望しない

出来るだけ早く移転して下さい。

受付日	8月22日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望しない

・説明会の移転計画で概ねいいと思う。

・庁舎への進入路は3カ所あるが、バイパス側だけでなく、国道からのアクセス道が必要かと思えます。

・財政に無理なく、再建団体とならないように計画に無理ないよう、修正など加味して柔軟に対応してほしい。

受付日	8月22日	会場	脇野沢交流センター
回収方法	会場にて投書	回答	希望しない

早く移転して下さい。

受付日	8月22日	会場	脇野沢交流センター
-----	-------	----	-----------

回収方法	会場にて投書	回答	希望しない
スムーズに進んでくれたらと思います。			
受付日	8月22日	会場	脇野沢交流センター
回収方法	会場にて投書	回答	希望しない
庁舎の移転は必要であります、それにかかる費用の返済は、市民の税金が使われると思うのですが、これ以上税金が上がらない様にしてほしい。これ以上税金が上がっても支払が困難です。市民の生活をおびやかす様な事だけは、してほしくないし計画の中に入れてほしくありません。			
受付日	8月23日	会場	大畑公民館
回収方法	会場にて投書	回答	希望しない
大変わかりやすかったです。がんばってください。			
受付日	8月23日	会場	大畑公民館
回収方法	会場にて投書	回答	希望しない
借金のつけを市民の負担にしないでほしい。			
受付日	8月23日	会場	大畑公民館
回収方法	会場にて投書	回答	希望しない
合併特例債の金額が予算が計画よりも少ないとの説明であるが、借金返済にはわかりなく長期返済金額であります様、市民負担は少なく出来ます様に努力願いたい。			
受付日	8月23日	会場	大畑公民館
回収方法	会場にて投書	回答	希望しない
決まってしまうことなので、仕方がないが旧各町村の庁舎を有効利用してほしかった。各説明会で「見直しをしてはどうか」との意見が相次いでいると聞いているが、変更がない説明会はあまり意味が無いと思う。本来ならばもっと以前に行くべきと思う。今さらだが…。			
受付日	8月24日	会場	脇野沢交流センター
回収方法	郵送	回答	希望しない
庁舎移転にはさんせいですし市民の一人として説明のとうりですと、よろこばしい事です。			
受付日	8月24日	会場	川内公民館
回収方法	会場にて投書	回答	希望しない
アクセス道路が338バイパス1本では不足ではないか。朝夕の混雑が予想されるのでできればもう1本道路をつくるべきだと思う。			
受付日	8月27日	会場	大畑公民館
回収方法	郵送	回答	希望する
庁舎の中に相談室を作ると思うが、1部屋だけでなく何室か作っていただきたい。警察の取調室のようなものでなく、相談室に入ったら気持ちがゆったりするような相談室を作ってください。			

→回答

新庁舎には、相談者のプライバシーを守り、安心して市民が相談できるよう、防音性能の高い相談室を配置していく考えです。

また、市民ルームには、市民がくつろげるようなスペースのほか、圧迫感を与えないような相談専門スペースを設け、職員がそこに出向いて相談を受けるような体制を考えています。

庁舎のどこにどのような相談室を設けていくかは、今後の設計に関わってきますが、ご要望に添えるように検討します。

受付日	8月27日	会場	下北文化会館、 大畑公民館
回収方法	郵送	回答	希望しない

私達主婦も大変関心を持ってます。現実的に交通のこと、(1日に何回バスが通るのか)むつ市財政が苦しいこと、むつ市の人口も今より増えるよりも少なくなっていくと思う。本当にこれから大変だと思います。第2の夕張にならないよう市長さん初め、市民全体にがんばりましょう。又、開放エリアには無料で飲める水があれば誰でも助かると思いますけどどうでしょうか。公用車もだいが維持費がかかるから、ハイヤーにすれば車検、ガソリン代、保険もろもろ必要な時だけハイヤーに乗ることも考えて見て下さい。第2の夕張になると公用車に乗れないと思います。自転車とか？

受付日	8月28日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望しない

当初からの商業スペース有りきではなく、各課、部署共、充分ゆとりの有るスペースを確保し、将来人員が増えるかも知れない事も考えながら計画して、最終的にあまったら、その使い道を考えればよいのではないのでしょうか。

受付日	8月28日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望しない

金谷1丁目は庁舎駐車場等全体のスペースが狭いうえ、人命にかかわる耐震性の問題があり移転もやむをえないと思えます。

以前から、新築を検討して来た事でしょうが、財政上の課題で延期していたもので、今回幸い電力会社からの助成があり、移転を決断する時期と判断します。

議会決議等多くの難題があると思うが、健康に留意し前向きで頑張ってください。

受付日	8月29日	会場	脇野沢交流センター
回収方法	郵送	回答	希望しない

細部面は分かりにくいですが全体面では分かります。改築には大きく利用しやすく、又、行政職員の作業しやすいスペース望みます。

又、市民として入りやすく、相談しやすくスペースを計ってほしい。

受付日	8月29日	会場	脇野沢交流センター
回収方法	郵送	回答	希望しない

百年の計をもって改築を

1. 行政職員の作業しやすいようにスペースを
2. 市民の希望相談しやすくスペースを広く
3. 議会に一般見学が多く入れるスペースを
4. 以上を希望する。

予算関係は分かるが、時代が変わって行く事を考慮して

受付日	8月29日	会場	大畑公民館
回収方法	持参	回答	希望する

「財政に直接かかわるもの」

- 1) 600億円の借金について

600億円の借金とチラシで出回った以上、市民に対して各々の説明をした方がよい。

- 2) 第2の夕張の懸念

膨大な借金が本当だとすれば、市民が第2夕張を懸念するのは当然であり、庁舎移転どころの話でない。

「行政構造の見直しについて」

- 1) 補助金、金額の明示を撤廃

各団体に出している補助金の金額を事前に明示するのはよくない。次年度の予算獲得のためにシャニムに消化している。各団体に必要なものはその都度申請し請求して取り行くとよい。

- 2) 労働力減少への対応

終戦直後自分の周囲で各家庭の働き手の数を思い出してみると各家庭を平均にして1戸あたり5.5人だったものが現在で1.7と減りしかもその1.7の内訳には高齢者のウェートが多い。むつ市の北通り地区烏沢、川代、出戸、関根ではかつて村全体のほとんどが作付けしていた稲作は現在では皆無に等しく、働き手が無くなったことを物語っている。これら有感案すると、かつての税収は望めないし、現代にバランスの取れた行政等の構造とする必要がある。

- 3) 市民の提案はプロジェクトをもって実現へ

- 4) 過去、現在と長期間に渡っての行政で、財政結果がよくないのだから、官民一体となって、大ナタを振るって財政の建て直しを計るべきだ。

「観光資源の構築を」

- 1) 新庁舎の空所に民俗資料館を設置して集客を計る。

- 2) 1)を達成するには下北全域の資料展示がよい。

3) 観光エリアは下北全域が勿論だが県内全域や更に函館を含めた広域とすべきだ。これらは「北東北ディステーション」を見てもわかる通りだ。観光客は限られた時間内に少しでも多くのものの堪能を望んでおりそのニーズに応える努力が必要である。更に上記の一環として観光路の一順となる道のりのルート化は必要である。

「産業と活性化」

- 1) 体験拠点の構築、下北半島には海、山、川の自然がある。これらの恵を観光資源とするため新庁舎の空所にこれらの拠点を設け、体験を可能としたほうがよい。更に下北の名産品や、木工、陶器工芸等の陳列販売がよい。

- 2) 港湾の活用として下北へ関わる重量物は港湾利用によって運賃の低減を計って産業にメリットを与えるべきだ。殊に冬期最も大量の灯油は関連の石油コンビナートから船便で直輸とし価格の低廉に務めるべし。

「教育」

- 1) 生徒達には県内外や都会とその現場を見学を重ね、自分たちにもやればできるんだという、自信と大志を抱かせ

るべきだ。勉強は生徒自ら進んで励むよう、仕向ければその成果はアップする。下北産業の歴史によるかつてのヒバ、鯨場、イカ漁などの衰退は甦る望みもなく、日本全国、いや世界に通用する人材の育成に努めるべきだ。

「下北半島唯一の客船」

採算の悪化で、補助金が採算性優先かの二者拓一に問われているが採算性の低迷はいつか手を切られるであろうことを考えると採算性重視すべきであろう。

→回答

、 1)について

現庁舎跡地を文化ゾーンとして、将来的に、文化施設などを整備していくことを検討しています。

「開放エリア」には、各世代の市民が気軽集えるような場を整備していくことを考えており、地場産品や工芸品等を展示販売し、更にミニ道の駅的な機能を持たせていくことができないか等、検討中ですが、他の観光施設との競合は避けなければいけないという考えもあり、それらの関係団体との協議を踏まえ、実現できる道を探りたいと考えています。

他の項目について

貴重なご意見、ありがとうございます。

これからの施策を検討する上で参考にしていきたいと考えます。

受付日	8月30日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望しない

本庁舎移転説明会は理解します。

常識のない訳の解らない反対派の意見は目に余るものがあり不快に思いました。

意見、質問等は一人当たりの時間を3分～5分とかに決めたほうが良いと思いますが。

暑さの中大変でしょうが頑張ってください。

受付日	8月30日	会場	川内公民館
回収方法	郵送	回答	希望しない

説明会に参加しより以上に理解することも出来又、選挙公約をしっかりと守り新市長の信意が直接伝わりました。中々人の集まらない川内町ですが40名程集まることが出来ましたが、少し不満なのが24日の有線が一度も流れることがありませんでした。書類上では見落としでも「耳で聞く」事にも効果的なものがあります。又、これからのむつ庁舎に、もう少し若い世代関心を持ってほしいと思いました。(若い世代の参加が少ない)むつ市の庁舎は顔です。広いばかりでは良いとはいいません。高齢者にもやさしく庁舎になってくれたらと思っています。

JRバスの件でしたが誰も乗っていないバスを見るとつらいです。

個人のことですが市のバスを利用する件ですが私の所属の団体は合併して研修会に行くにも利用することが出来感謝しております。又、むずかしい？質問にも適切に答える副市長に拍手です。又、市長の市民の声を大事にという、その人柄がよ～く伝わりました！！

受付日	8月31日	会場	大畑公民館
回収方法	郵送	回答	希望しない

私達身体障害者が自動車で来庁しても駐車場が広いので大変助かります。

希望と致しましては、庁舎玄関近くに身障者専用の駐車場を多く整備してください。

庁舎内のバリアフリーは高齢者や身障者に配慮した空間で大変良いと思います。

受付日	8月31日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望する

法的ではなく、実用的に、50年後に震度6クラスの地震がきても大丈夫かどうか知りたい。
 停電時、窓が少ない建物だが、対策はあるのか。
 現市役所の職員の安全確保策はとられているのか。
 ワンストップカウンターにおいて職員はどのように動くのか。
 説明会をもっと開いて、任意参加のみでは無く、招待(呼ぶ)する位に開かれた行政を推進してほしい。
 若者が将来性、希望、魅力を感じることでできる街づくりを期待する。
 個人的には市役所は無理してでも建て替えをして、旧アークスプラザは大学設置できるよう整備してほしいと思
 う。

→回答

アークスプラザは鉄筋コンクリート造り(梁部分は鉄骨)で、コンクリートの中性化(コンクリートはアルカリ性で、その成分が失われること)が進み、鉄筋に達した時を耐用年数としており、その点からするとアークスプラザは構造的耐用年数は約64年となります。平成7年築ですので、耐用年数は約50年となるわけですが、高度成長期に建てられた各地の鉄筋コンクリート製の建物の現在の状況を見ても、建物の保全管理を適切にすることにより、コンクリートの中性化を防ぎ、耐震性を確保していくことは可能であると考えています。

説明会の時に、プロポーザルでの設計業者の提案用のイメージ図を提示しましたが、屋根面からの採光、また外壁を改修して窓を取り付けることを検討しています。なお、窓の取り付けの際には、構造計算で確認しながら、外壁の補強も行いながら進めることとしています。

現庁舎については、平成7年の耐震後庁舎により、震度5程度の地震に対して安全が確保されているとは言い難いとの報告がありましたが、補強方法が、現在窓口が集中している1階部分を壁で仕切るという非現実的な工事となること、また、財政的な事情により、現在に至るまで抜本的な構造上の補強はできていない状況です。

地震対策としては、倒壊した3階部分を現在書庫として利用していますが、その書庫になるべく書類を上げず荷重を減らすとか、避難のための出入口を確保するとか、避難訓練を実施するとかして、職員個々の意識の高揚を促している状況です。

来庁者が多い課の職員で窓口部会を作り、新庁舎で窓口サービスをどのようにしていくかを検討中です。これまでの検討では、来客の多い市民課、国保年金課、健康推進課や税務課又は福祉関係課を近くに配置する一方、集約できる事務を集約し、来客者ではなく、できるだけ職員が動いて対応することを考えていますが、今後、設計の中で最終的なレイアウトが決まってから、具体的な職員の動きを検討していくこととなりますので、ご了解ください。

今回の説明会では、行政に関連の深い行政連絡員、町内会長、納税貯蓄組合長、保健協力員には個々に、多くの会員のいる老人クラブや婦人会等には会長さんを通じて案内をさせていただきましたが、4地区、5回の開催で参加者は268名という結果でした。今後、庁舎移転問題だけでなく、財政問題や合併後の各地区の抱える問題などについて、直接、市民の意見を聴く機会を設けていくつもりですし、更に分かりやすい情報発信に心がけていきたいと考えています。

旧アークスプラザに開放エリアを設け、ささやかながら、各世代が集えるような空間造りをしたいと考えていますが、若者が魅力、希望を持てるまちづくりをするためには、若者が暮らせる環境造りが肝要で、それは、大学等の教育機関の問題であり、雇用の問題であると考えています。将来、さらに少子化が進むことが予想され、新規大学の誘致は不可能ですが、専門学校等誘致の道がないか検討しています。

一方、雇用の問題は、一つの市のみの努力では難しく、これまで誘致して当市で開設した事業所や工場等も長続きしていない状況があります。その根底には交通インフラの問題があり、一朝一夕に解決できることではなく、長期的な戦略のもと、地道に取り組んでいかなければならないことと考えています。

また、市役所を現在地に建て替えるには、旧アークスプラザを利用する2倍近くの建築費が掛かると試算されており、新築経費の半分は基金として積み立ててからでないと残りの経費の起債もできない制約があります。今回は、寄附金と合併特例債を財源としたわけですが、現在地に庁舎を新築していくには財源の目途が立たず、現在の財政状況では無理です。

受付日	9月3日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望する

3. 新築経費の1/2以下としているが、新築の設計と見積をしたのか。

4. (1) 移転と関係があるのか

(2) 合併特例債は川内、大畑、脇野沢との約束とは違う。

・雇用が新築より大幅に少なくなる。見積をしたのか。

→回答

3. について

経費が1/2以下としたのは、アークスの建物の取得費と改修工事費は現時点で約20億円、一方、新築を計画する場合の概算金額は類似事例等を参考とすることが一般的で、東北地方での最近の庁舎新築の実施㎡単価を参考として、庁舎エリア部分の面積約13,700㎡を積算すると約50億円となることを根拠としたものであり、経費にかかる新築の設計や見積はしていません。

4. (1) について

「移転に向けた現状分析」の記述についてのことと思います。

この部分は、庁舎としていく上で、どのようなことに注視して整備していかなければならないかを考えるため、現状を分析したものです。

「高齢化・少子化」に物理的に対応できる庁舎として、高齢者でも使いやすい工夫と、子育て家庭が気軽に利用できる配慮が必要でしょうし、「業務量」は増えると予想されるが、「職員数」は確実に減っていくので、現時点の職員数を基準として庁舎面積を考え、業務内容の変化に対応し、ブースを変更していくことができるような造りとし、行政需要の変化に対応できる庁舎を整備しようということです。

(2) について

合併時、文書化はされていませんが、当時の首長間の協議の中で、財政状況を勘案し合併後5年間は、合併特例債はできるだけ使わないとする合意がなされました。ただ、合併特例債は有利な起債であることから、議会の議決をいただいて17年度に道路や排水路整備、高規格救急車の購入などのため約2億4千万円、18年度には道路や排水路整備のため約1億2千万円と生活に密着した事業に使っていますし、19年度においても、当初予算で3億円余

を使っていく予定となっています。

今回の庁舎移転のためには、改修工事費のために約1億9千万円という多額の合併特例債の充当を考えておりますので、工事費予算を議会に提案するときには、改めて合併特例債の使用をお願いしていくこととなります。

「雇用が新築より大幅に少なくなる。見積したのか。」について

工事に係る雇用が庁舎を新築するより、改築の方が少ないというご指摘かと思ます。そのとおりだと思いますが、問3同様、新築工事による雇用数等の積算等も行っておりません。

受付日	9月5日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望する

説明されたものは理解できましたが、次の点について更なる説明があってほしいと思いました。

耐震性について、確保されているのか、補強するとしても安価で済むことなのか不明であった。

移転に当たり駐車場の狭あいが問題視されていますが、市職員の駐車場にその多くを要していることを明らかにした上で、移転先では十分なスペースであることを述べる方が正しいのではないかと思う。なお、職員駐車に関しては、有料と思いますが、その状況も追加してはいかがでしょうか。

・質疑において市議会議員が発言を占有している感じがしました。一般市民の声を多く引き出すべきと思いました。(議員は議会で本件説明会の内容を踏まえて質問してほしい)本来は議長に要望すべきと思いますが、容赦願います。

→回答

について

現庁舎に対してのご質問か、アークスプラザに対してのご質問か判断できませんでしたので、両方についてお答えします。

現庁舎は、平成7年の耐震に関する調査で、震度5程度の地震に耐震性が確保されているとは言い難いという報告を受けており、補強方法として、1階を壁で仕切っていくことが提示されていますが、窓口関係事務が成り立たなくことから実施しておらず、したがって、その経費も算定していません。

また、アークスプラザは建物の構造計算から耐震性は十分に確保されていることが確認されていますが、今後、議場などのために柱を抜いたり、外壁に窓を取り付ける改修をしていくこととなりますが、耐震性が落ちることのないよう構造計算で確認しつつ、また、補強方法も種々あることから、その経費も設計の中で検討しながら進めることとしています。

について

貴重なご指摘ありがとうございます。

現在、職員駐車は無料です。職員の駐車台数を減らすため有料化を検討したこともありますが、逆に有料とした場合に、有料駐車場部分の使用が優先され、駐車場全体の弾力的運用に支障を来す恐れがあるため、2km以内の職員には車通勤自粛としている状況です。むつ総合病院は、希望分の駐車スペースが確保可能とのことで、現在有料にしているようです。

アークスに移った場合は、来客用の駐車スペースと希望する全職員分の駐車スペースを十分確保できますので、有料化を改めて検討したいと思います。

・の部分について

今後も説明会を行う機会があると思いますが、できるだけ、一般市民のご意見を伺えるよう、会議の進行などに意を用いていきたいと考えています。

受付日	9月6日	会場	川内公民館
回収方法	郵送	回答	希望する

第1回目の議会での否決は市長は尊重すべきものでなかったか。この問題は、中間貯蔵施設誘致と大きなかわりがあることは周知のこと。松本清張の小説の題名ではないが「黒い霧」に包まれた疑惑に始まり、晴らす気配さえ見せなかった。アークスの買収にしても、本質は伏せられたままで進んできたようで、今後の市政に汚点を残す結果となっているのではないかと。とくに旧むつ市民と違って、川内からの指摘は当を得ていないかも知れないが、疑惑は明らかにし、庁舎建設は現在地にすべきである。建設費は計画どおりにいかず、かならず補正予算を組むことになるでしょう。それによって税はたんはさげられないことになるのでは？

→回答

説明会のお答えしたように、議会で「現状維持の原則」により結果的に否決の立場を採ったのは、積極的に賛成する者が過半数に達せず、もっと時間を掛けて検討する必要があると判断したことによるもので、議案に対する説明が不足していると感じたからであり、それが、まず、今回のような説明会を開催する動機となっているものです。

中間貯蔵施設との関わりということは、電力事業者から寄附を得たことを指していると思われませんが、それは故前市長が既に明らかにしているように、庁舎移転のための寄附を市側からお願いしたという経緯があります。この寄附を受けたことにより、中間貯蔵施設の建設に何らかの手心を加えるということではありません。「疑惑」というのが、どういうことを指しているのかわかりませんが、中間貯蔵施設の建設は事業者が国の許可を得て、国の監視のもと行われるものですので、市の判断の入る余地はありません。

アークスの買収については、寄附金を充当して行った訳ですが、それも予算と取得契約に対する市議会の議決を経て行ったものです。

なお、改修工事費は、設計がまとまれば最終的な額が出てきますし、その他、移転費、現庁舎の解体・整備費や車庫整備費用も現在積算中で、その工事費の予算を提示するときに移転経費全体を提示していくこととしており、それ以上に掛かることはありません。

また、合併特例債を借りることとなりますが、その返済額は今後の赤字解消計画に影響を及ぼすものではなく、また、その償還額を含んで解消計画を組んでおりますので、それにより、税金を上げなければならない事態になる心配はないものと考えています。

受付日	9月10日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望しない

駐車場について、職員(議員)用と来客用を分離する。

受付日	9月13日	会場	大畑公民館
回収方法	郵送	回答	希望しない

庁舎新築の場合50億とありますが、なぜ、大金をかけそんな大きな建物を作らなくてはいけないのか？現在以上の分庁舎利用をしたらいいのではないかと思います。負債がいっぱいあるのに、余裕のあるぜいたくな建物は必要ないと感じませんか？うわ物ばかり建て、維持管理に無駄な経費がかかりすぎませんか？移転以外で職員が多すぎて、いらぬ人はいませんか？考えてください。合併したことが成功だったと言える将来にしてほしいです。

受付日	9月28日	会場	大畑公民館
回収方法	郵送	回答	希望する

・移転に必要な経費の説明を聞きましたが、予定より多く費用がかかった場合誰が責任をとりどんなお金を使うのですか。

→回答

説明会で、移転費用は現庁舎の解体整備費を含め、概算で27億5,000万円程度見込んでいるとお話しました。設計が進んで改修工事費の額が確定することになる訳ですが、なるべく当初の見積もり内収まるようにしていきたいと思っております。今後、他に掛かる費用も含め、移転事業全体の経費と寄附金を除く足りない経費に充当する合併特例債の使用額もお示しできます。事業予算は全て議会に提出し、同意を得て実施することとなります。

・平成23年には黒字になるとおっしゃっていますが累積赤字約600億円もすべてなくし借金なしになるということでしょうか。また収入源は何でしょうか。4年ぐらいで本当にできるのでしょうか。今まで何が原因で借金がふくらんでいたのでしょうか。

→回答

毎年12月定例議会に一般会計の「赤字解消計画」を提示しています。昨年12月に提示した赤字解消計画は、市政だよりの3月上旬号にも掲載しています。平成18年度末で累積赤字額(実質収支)を26億8,400万円と見込んでおり、その後、赤字を年々減少させ、平成23年度には1,200万円の累積黒字になると見込んでいます。

この累積赤字というのは、家計に例えると、出費がかさんで毎月給料を前借りしているような状態と言えます。市の場合は、その状態を平成23年度で解消したいと考えているわけです。

結果的には、平成18年度末での累積赤字額は、経費の節減等により、21億3,400万円となり、赤字解消計画よりも5億5千万円多く赤字を解消していますので、赤字解消計画を着実に進めることにより、平成23年度末(向こう4年間)で一般会計の赤字解消はできるものと考えています。

ご質問の累積赤字約600億円は、平成17年度末の一般会計、下水道事業特別会計等の特別会計、及び水道事業会計を含めた地方債のことで、事業を行う場合に一般財源の不足分を金融機関等から調達する、いわば長期間の借金です。家計に例えると、家や車のローンの残高と言えます。

この地方債制度は、公共施設等は将来にわたり供用されるものですので、現在の人が一切の負担を負うのは不合理との考えから、あえて将来にわたり負担していくということも考えた制度であり、全ての自治体で地方債を有効に活用しながら、事業を行っています。

なお、地方債の返済を計画的に行い、新たな借金を抑制することで、地方債の残高を減らし、健全な財政運営を図っていきたく考えています。

・人口減少化しているので庁舎は広くなくてよいと思う。大畑、川内、脇野沢各庁舎には使われていないスペースがあると思うので職員を分散させ今ある物を利用することを心がけてほしい。

→回答

人口減少による業務量の減もありますが、職員数も定員管理計画に則り減らしていますので、アークスに移る職員数は現行数を上回ることがないという前提のもと、総務省の基準により庁舎エリアの面積を算定しています。

また、分庁舎の空きスペースは大畑庁舎と川内庁舎に生じていると認識しています。合併時の協議では、むつ市役所の各部を旧町村役場に分散するという案も検討されましたが、結局、各地区の住民の利便性を考慮し、現在の各課を残す分庁舎制を採用することとしたものですので、当分の間は現行体制を基本としつつ、対応を検討したいと考え

ています。

合併による旧役場の空きスペースの問題は、むつ市に限らず、合併した全国の自治体が抱えている問題で、各地域で色々な工夫を模索しているところです。地方自治法の改正により、庁舎の空きスペースを従来より容易に民間に貸し出すこともできるようになりましたので、地域の皆様のご意見を拝聴しながら、今後、抜本的な対策を講じていきたいと考えています。

・地方分権、権限移譲により業務が増えるということですが、民間に比べたらとても暇そうに見えます。休みもきちんとしてますし。

→回答

業務量は横ばいか増となっているのに職員数は減っているというのは事実です。今後も退職人数に対し採用人数は1/3～1/2とする計画ですので、組織の再編成をしながら事務効率の改善を全庁挙げて推進しなければならない状況であり、暇な職員はいないと認識していますが、もしそういう職員がいるとしたら、ご遠慮なくご指摘ください。

むつ市の職員の年次有給休暇の取得日数は、年平均約10日で、それは取得できる日数からすると約26%の取得率となります。労働者として認められている権利として、更に取得を促進させたいと考えています。休暇は、業務管理と自己管理をしっかりしなければ取れないわけですので、休みを取っているから暇だという考え方は持っていません。

・職員のみなさんは現庁舎では、地震等の災害がこわくて仕事できませんか。

→回答

地震は怖いものです。その感覚を無くしては、いざという時には自分の身のまわりより、市民の安全を優先して救援・復旧業務に当たらなければならない公務員としての基本的自覚に欠けることとなると考えます。

問題は、現本庁舎が災害時に救援復旧の司令塔としての機能を果たし得るかということです。

現庁舎の補強には、執務室を区切って壁を造っていく必要があるとされていますが、窓口業務に支障を来すことからその対策は採らずに現在に至っています。旧アークスプラザは耐震性が確保されていますので、災害支援物資や救援NPO団体等も受け入れ可能な広いワンフロアと駐車場を活かした、災害対策本部としての設備も考慮した整備をしていきたいと考えています。

・市会議員の報酬が多すぎると思います。

→回答

平成9年から議員の報酬額は改定していません。合併時、旧町村部と市部の議員報酬の二本立てで、今改選後一本化されますが、高い方の旧むつ市の議員報酬は、県内10市の中では平川市、つがる市に次いで低い額です。この議員報酬の額は、特別職報酬等審議会という有識者等からなる諮問機関で、経済状況、他市の状況及び市の他の特別職の報酬額などを勘案し決定するものです。

・議員の視察は何の役に立っているのかわかりません。ほとんど無駄だと思っています。もし視察がむつ市にとって必要なのであれば、きちんとその内容をレポートしてもらい、広報で皆に示してほしいです。

→回答

議員の視察は、議会活動において十分な審議ができるよう、様々な問題等について調査することを目的に行われます。むつ市議会では、視察を総務・産業経済・建設・教育民生の4常任委員会が例年5月頃、また、議会運営委員会

が8月頃実施しています。

いずれの視察についても、視察終了後、報告書を作成し議長に提出するとともに、むつ市役所ホームページの「むつ市議会」の中に掲載していますので、ご利用ください。

・市長は市民と直接対話を多く持ちたいとおっしゃっていましたので、それはとても良いことだと期待しております。議員、職員の皆様も外に出て直接皆の声を聞いていろいろ考えてほしいです。困ったこと、用があったら聞きに来いというような態度ではすべての市民に優しく親しまれる庁舎にはならないと思います。

・最後に市長のご健康と市民のために良い市政をしてくださるようお願いしております。

→回答

貴重なご意見ありがとうございます。

今後は、本庁舎移転問題に限らず、市が抱える重要案件について各地区で説明会やタウンミーティングを行ったり、または市政だよりを有効に活用してアンケートを行うというような市民皆様のご意見を汲み上げる工夫をしていくことを考えていますのでよろしくお願い致します。

受付日	9月28日	会場	
回収方法	持参	回答	希望する

庁舎移転については、説明会資料及びむつ市本庁舎移転基本計画(案)並びに審議会議事録(市ホームページ)等から移転計画は、概ね妥当と考える。

移転先の土地、建物も取得済であることから移転に賛成できる。

但し、次の点に余り触れられていないように見受けられたので、検討頂ければ幸いです。

(説明会の質疑応答の中であったかも知れませんが、都合で出席できませんでした。)

1 交通アクセス(バス便)について

(1)新市庁を訪れるバス利用者にとって、現行の交通体系では、不便である。

ア 田名部方面から文化会館経由便は、一日一便のみである、また、下北交差点経由の便は、中央町県営住宅前バス停からは、やや距離があり、高齢者にとって負担となる。

イ 北通り、南通りの方々にとっても、JR、下北交通の乗り継ぎ等不便である。

ウ 出来得れば、新庁舎構内に、旧アークスの時のようにバス停を設けて頂きたい。

→回答

ご意見のとおり、市庁舎へのアクセスとして公共交通機関の整備は不可欠です。アークスの敷地内まで乗り入れることを含め、路線バスの運行をバス会社に要請することを考えています。また、市庁舎・図書館・国・県合同庁舎・むつ総合病院・社会保険事務所・下北文化会館等の周囲の行政機関などを循環する路線などの新設についても検討、要望していきたいと考えています。

(2)旧アークス時から出入り口は、通常信号待ちによりやや混雑していたが、新庁舎になると、市職員の方々の出勤、退庁時に相当の混雑が予想される、解決策として、東口にスーパードラッグアサヒ方面に抜ける道路の新設を提案する。

→回答

新庁舎敷地と国道338号バイパスの出入り口は3箇所あるものの、職員の出勤及び退庁時には、ご懸念のように交通混雑が予想されます。現在、市の都市計画では新庁舎の南側に文化会館からの延長道路となる都市計画街路、

また、東側にはむつ警察署とスーパードラックアサヒの中間地点から国道 338 号バイパスに通ずる都市計画街路が計画されています。庁舎移転に伴い、交通の混雑状況等を見据えながら、必要に応じ早期に道路の新設や整備を検討する考えです。

2 開放エリアの管理について

庁舎エリアは、休日、夜間は閉鎖し宿、日直による管理がされるが、開放エリアは、休日、夜間を問わず常時開放となっている、最近県内では、悪質な悪戯が多発している、管理、防犯面についての方策について示す必要があると考える。

→回答

開放エリアには、子供から年配の方まで気軽に利用できる(仮称)市民プラザと商業系テナントなどが整備される計画ですが、その運営管理は、管理人を置く形で民間又は公共的団体等の団体をお願いする予定です。市民プラザ部分やテナント部分も 24 時間営業は考えておりませんので、「常時開放」といっても使用時間が終われば翌朝まで閉鎖する考えです。

3 現庁舎について

現庁舎の耐震性については、説明されているが、耐用年数(後何年使用できるか)が示されていないように思える、現庁舎は、後何年で建て替えが必要であり、その費用はどのくらい必要なのか、新庁舎への移転費用と比較してどうなのかを市民に周知すれば移転賛同者が多くなると考える。

→回答

現本庁舎は築後 45 年経過し、一般的に言われている構造的耐用年数の残存年数は、19 年あることとなります。しかし、十勝沖地震による被害を受け、昭和 56 年に耐震補強工事を実施したものの、平成 7 年の耐震診断では「震度 5 程度の中地震に対し安全である数値を下回り、今後発生が予想される震度 6 以上の地震に対して耐震性が確保されているとは言い難い」との報告になっています。市庁舎は防災の拠点施設となり災害時の救援・復旧の司令塔とならなければならないが、非常に心許ない状況です。

新庁舎を新築する場合の費用は、職員数に見合う基本計画面積(13,700 m²)に東北地方の類似実施単価を乗じて約 50 億円と見込まれますが、アークスを市庁舎としていく事業費は、現時点で、建物取得費と改修工事費で約 20 億円と試算され、1 / 2 以下で整備することが可能となります。

なお、このことは本庁舎基本計画に掲載していますし、説明会でもご説明したところです。

受付日	10月1日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望しない

財政難の折、庁舎に予算をつぎこむ事はいかなものか。この先税収もますますきびしいものになるのではないかと心配である。

私は庁舎移転に反対である。

受付日	10月1日	会場	下北文化会館
回収方法	郵送	回答	希望しない

謹啓

先日は真に失礼な事を致しました。宮下様が市長投選されまして真に御目出たく想って居りました。此で当むつ市、下北郡も安態と安心して居りました処へ、庁舎移転の説明会と聞き寝耳に水で、おどろきました。小生は56年間建

築現場の作業をして来た物の一人です。丁度今から44年前の事当庁舎新築工事の時地元の下請建築会社の、コンクリート工事部門の現場「カントク」として務めて居りました。又十勝沖地震も見て来ましたし、当アークス工事も鹿島建設からの作業員として廻って居ります。あんな不適當な処等の移転して多くの市民を困らせる事等しないで、色々別の街起し等を考え下さる事をお願い致します。先ずは御願ひ迄、乱筆にて失礼致しました。

啓具